

# 大学の研究成果の社会実装！

## 「信州TLOが推進する産学連携について」

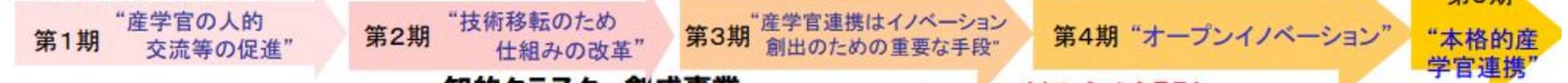
株式会社信州TLO

代表取締役社長 大澤 住夫

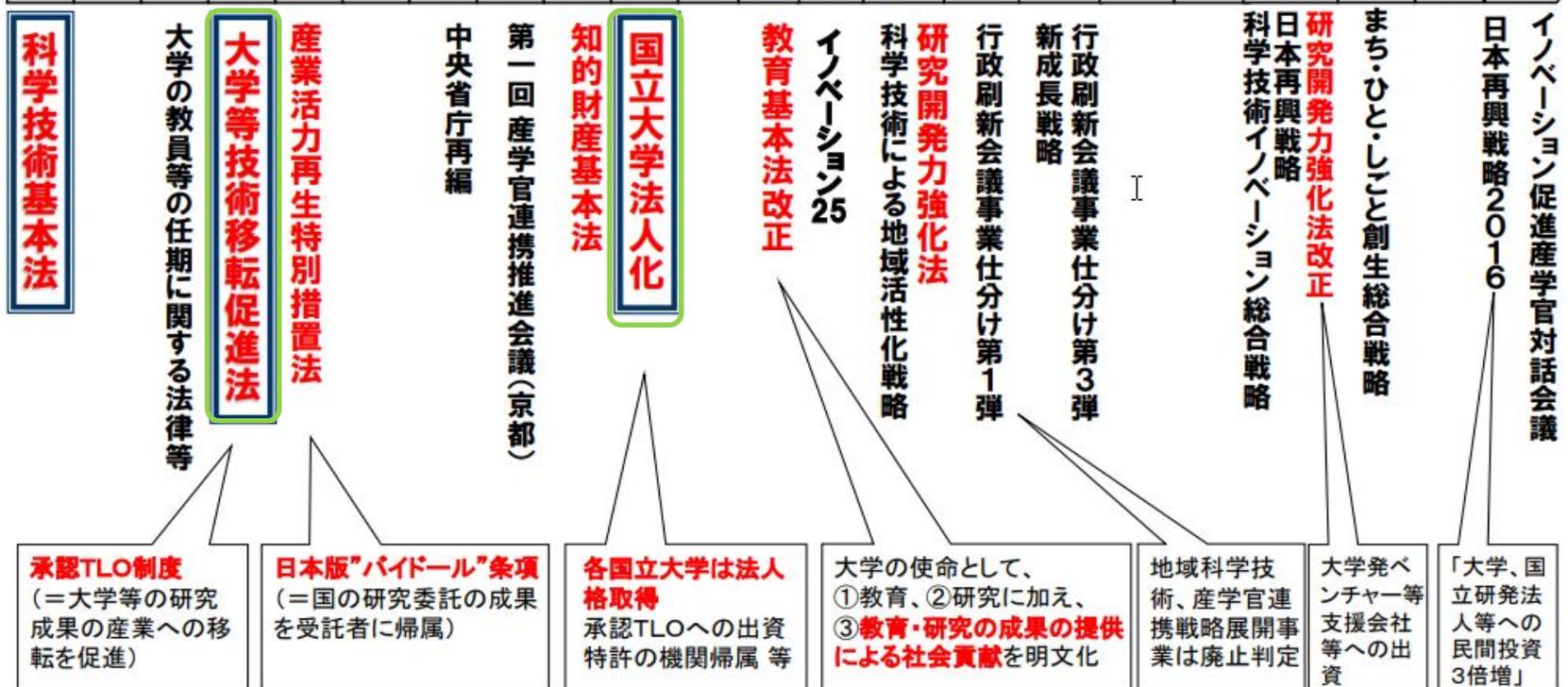
- 大学等が持つ優れた知識と技術の「社会実装」
- 経済のグローバル化における「価値創造」
- 地域の活性化に向けた「地方創生」

# 産学官連携施策の経過

## 科学技術基本計画



'95	'96	'97	'98	'99	'00	'01	'02	'03	'04	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----



TLO帰属が可能

出典: 文部科学省 科学技術・学術政策局  
 産業連携・地域支援課 大学技術移転推進室

# 大学等技術移転促進法

## 【TLOとは？】

**T**echnology **L**icensing **O**rganization (技術移転機関) の略称です。大学の研究者の研究成果を特許化し、それを企業へ技術移転する法人であり、産と学の「仲介役」の役割を果たす組織です。

大学発の新規産業を生み出し、それにより得られた収益の一部を研究者に戻すことにより研究資金を生み出し、大学の研究の更なる活性化をもたらすという「知的創造サイクル」の原動力として産学連携の中核をなす組織です。

# 大学等技術移転促進法

## 【TLOの必要性1】

・我が国の大学等には、研究資源の多くが集中しており、その成果の中には新規産業の「シーズ」として有望なものも多くあるのですが、それが産業に十分活用されているとは言えませんでした。

・企業（メーカー）には研究部門とは別に特許管理を行う「知的財産部」があるのに対し、大学にはそうした組織が従来存在しなかったことに大きな問題があり、大学の研究成果の特許化及び企業への移転（ライセンス）を行うTLOの必要性が認識されるに至りました。

# 大学等技術移転促進法

## 【TLOの必要性2】

- ・これを受け、各大学におけるTLOの設立を政策的に支援する「大学等技術移転促進法」(通産省・文部省提出)が平成10年5月に制定され、8月から施行されました。
- ・TLOが整備されることによって、研究者は研究に専念しながらその成果の特許化・産業化によって更なる研究資金を得るという「知的創造サイクル」の仕組みが実現します。

# 大学等技術移転促進法

## 【概要】

### 第1条(目的)

大学や国の試験研究機関における技術に関する研究成果の効率的な技術移転を促進することにより、新たな事業分野の開拓、産業技術の向上、大学等の研究活動の活性化を図り、我が国の産業構造の転換の円滑化、国民経済の健全な発展、学術の進展に寄与することを目的としています。

### 第2条(定義)

「特定大学技術移転事業」とは、大学における技術に関する研究成果(特許権等)のうち、その帰属が国以外の者(大学帰属・研究者個人帰属)になったものを、その成果の適切かつ確実な(成果を死蔵させない)民間事業者に対し移転する事業のことをいいます。

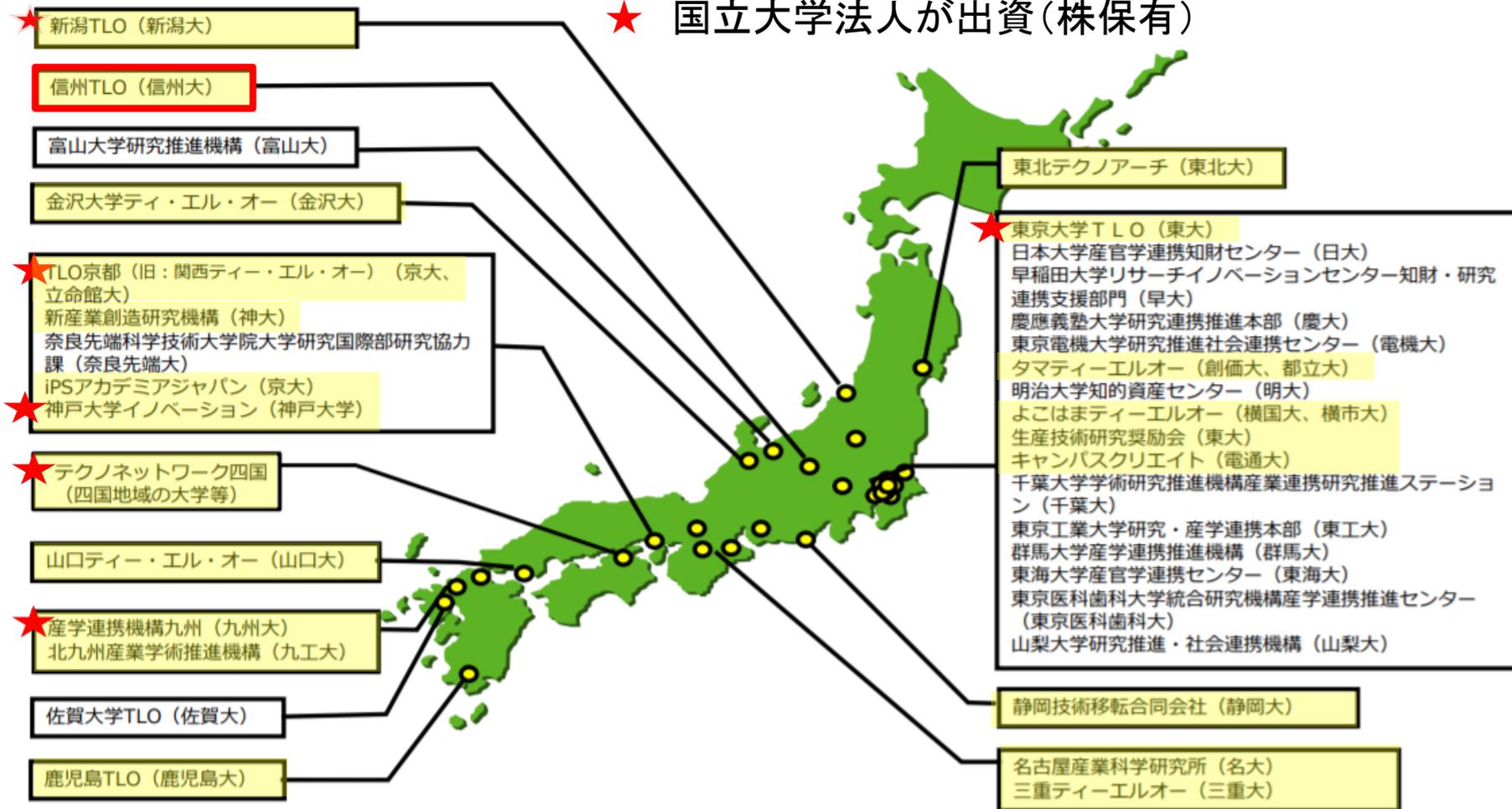
出典: 経済産業省 産業技術環境局 技術振興・大学連携推進課

# 承認TLO（35機関）の分布

## 大学外のTLO 21機関

令和2年3月現在  
 ( ) 内は主な提携大学

★ 国立大学法人が出資(株保有)





# 産学連携で当社がすべき事！

## 大学の活動支援:

- ・良い研究成果を出して頂くための支援

- 大学知財部門との連携**  
 <教員>  
 ・教員の産学連携に対する相談・調整

- 教職員との連携**  
 <学生、一般>  
 ・広報活動、就職支援  
 ・知財講義

## 技術移転:

- ・特許だけではなく、ノウハウも含めて

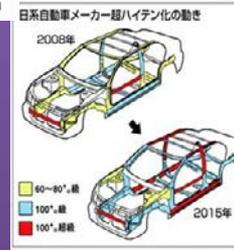
- ・シーズの紹介
- ・契約業務 (状況に適した提案)  
 NDA・MTA・研究契約・  
 出願契約・実施契約・  
 譲渡契約・技術移転契約  
 コンサルタント契約・  
 技術指導契約 **各CDや大学契約担当者との連携**

## 企業の事業化へ協力:

- ・技術指導・共同研究などの  
 マネージメント
- ・中小企業の資金不足への対応

- ・技術指導／共同研究の成果
  - ・公的な事業支援策への対応  
 (プロジェクトの提案から進捗管理)
- 地域CDや大学URA部門との連携**

## 企業の事業化に貢献 (Win-Win)



## 文部科学大臣賞

### 「アレルキャッチャー®製品群の開発」

白井汪芳 信州大学名誉教授  
 ダイワポウノイ株式会社  
 株式会社信州TLO



#### 事例の概要

○信州大学の白井汪芳名誉教授は、長年に渡りフタロシアニン誘導体の研究を行い、その成果として大和紡績(株)から製品化された消臭繊維は、現在家電、インテリアなど幅広い分野に採用  
 ○さらに、(株)信州TLOによる知的財産管理等のサポートにより、アレルギーの吸着機能を有する繊維の開発に成功し、共同研究を実施していたダイワポウノイ(株)から「アレルキャッチャー製品群」として発売

#### 具体的成果

○『アレルキャッチャー®』は、現代人の生活環境に存在する有害なもの(ウイルス、花粉、ホルムアルデヒド等)を除去することが可能  
 ○大学・企業・TLOの一体的な取組により研究成果を国民病ともいえる花粉症やアトピー性皮膚炎に対応可能な製品にまで発展

アレルキャッチャー®製品群の例



平成22年度産学官連携推進会議「科学・技術フェスタin京都」にて、産学官連携功労者表彰の文部科学大臣賞を受賞しました。

## 地域の課題に基づく研究成果の活用

【市田柿とは？】 <https://www.ja-mis.iijan.or.jp/product/ichidagaki.php>

市田柿は、2016年に地理的表示(GI)保護制度に登録された南信州を代表する特産品です。

あめ色の果肉と小ぶりで品のある外観、もっちりとした食感と口に広がる上品な甘さは、市田柿ならではの。ビタミンA、食物繊維などの栄養素も豊富に含み、また渋柿の中に含まれる渋味成分(タンニン)がポリフェノールの一種であることから、スーパーフードとしても注目を集めています。



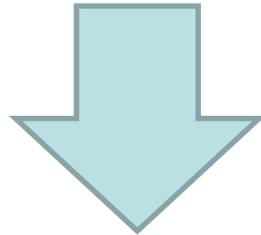
白い粉(ブドウ糖)に覆われた干し柿

出典: JAみなみ信州

# 地域の課題に基づく研究成果の活用

## 【市田柿の課題】

- ①天日乾燥では製品に要するまで30～40日
- ②労働不足(高齢化)で、105t/年間が生果のまま廃棄
- ③温暖化により収穫時期が早まる  
(夜間気温が下がらず、水分抜けが悪く、カビ発生)



『気熱式減圧乾燥機』 完成

性能 乾燥期間: 4日～8日(1/5)

生産量 : 2.7t/バッチ



## 国内の事情に対応した研究成果

### 【背景】

イチゴは生食用のほか、ケーキ・デザート用など年間を通じて需要があるが、国産イチゴの端境期にあたる夏秋期(6月～10月)は、需要の90%以上を米国から輸入(2007年当時)

### 【夏秋イチゴとは？】

よく知られているイチゴのほとんどは「一季成り」(冬春イチゴ)と呼ばれ、冬～春にかけて収穫できる品種です。これに対し「四季成り」は、ほぼ一年を通して収穫できるという意味で、実際には夏秋を中心に開花し、初冬まで収穫できます。この端境期に活用される品種が「夏秋イチゴ」と呼ばれています。

## 国内の事情に対応した研究成果

### 【夏秋イチゴ 信大BS8-9の誕生】

冬春イチゴに比べ、夏秋イチゴの品質は著しく劣り、『冬と夏は別モノ』という認識が長年定着してきました。

『おいしい夏秋イチゴ』を求めて、2003年に育成を開始し、2011年に品種登録が完了。

#### [生態特性]

- ・うどんこ病・灰色かび病などの病害に強い
- ・ランナー発生数が多く、苗の増殖効率が高い
- ・盛夏期にもつぼみがでるので、連続収穫可能

#### [果実特性]

- ・高温期でも糖度が高く、味が濃い
- ・果芯まで赤く、カットしての利用に最適
- ・適度に硬さがあり、遠方への輸送も可能
- ・白ろう果がまったく発生しない



長野県内から普及し、現在は北海道から沖縄まで全国展開中

### 【背景】

ワイナリーが急激に増加（長野県内）

### 【課題】

- 異業種からの参入（地元ではない）
  - 地域ブランドに対する意識が低い
  - 連携が希薄
- ブランディングのノウハウがない
- ブランド・デザインというコンセプトへの理解がない
  - ブランド＝高級品
- 知的財産に関する知見がない

# 地域の課題

## 千曲川ワインバレー [東地区]

高原の光と風があふれるワインの里

長野県 Nagano

東京 Tokyo

千曲川ワインバレー  
Chikuma River Wine Valley

日本アルプスワインバレー  
Nihon Alps Wine Valley

碓氷ヶ原ワインバレー  
Kiyogakara Wine Valley

天竜川ワインバレー  
Tenryu River Wine Valley

長野県を南から北へと流れる千曲川は、その名の通り、千の数はど曲がりくねり、川沿いに豊かな土地を育んできました。このエリアは、水はけの良い土壌、冷涼な気候、比較的に少ない降水量など、ワインブドウの栽培にとっての好条件が揃い、ワイン産地としての大きな潜在力を秘めています。近年、ワイナリーやブドウ園が続々と誕生し、今では60

以上の生産者が集い、一大産地を形成しつつあります。太陽を浴び、高原を吹き渡る風に育まれたブドウで造られたワインは(赤白問わず)、十分に熟した果実味に、気候を反映した生き生きとした酸が彩りを添え、伸びやかな余韻とともに、飲む人を魅了します。すでに一部のワインは熱心なファンを獲得し、国際的な評価も上がりつつあります。

## Chikuma River Wine Valley

NAGANO WINE

千曲川ワインバレー [東地区]  
高原の光と風があふれるワインの里  
上伊豆郡、青木村、千曲市、碓氷町、東御市、小諸市、碓氷町、立科町

地帯内のワイナリー・ブドウ園データ凡例

- ①ワイナリー or ブドウ園の名前
- ②生産者 or 栽培・醸造責任者
- ③栽培品種
- ④ワイナリー or ブドウ園の場所
- ⑤問い合わせ先

※ワイナリー(番号を●で表示)は、醸造施設を持ち自家醸造している生産者、ブドウ園(番号を●で表示)は、ブドウ園だけの

主催 長野県観光物産局  
監修 千曲川ワインバレー推進協議会

**千曲川ワインバレー【東地区】**  
産地を担うつくり手たち

The map displays the Sanagawa Wine Valley (East Area) with various vineyard locations marked by numbered icons (1-51). Each icon corresponds to a winery profile listed on the page. The profiles include the winery name, contact information (TEL, FAX, E-mail), and social media links (Facebook, website). The map also shows major roads, rivers, and surrounding municipalities: 千曲市 (Sanagawa City), 上田市 (Utsunomiya City), 東御市 (Togami City), 小笠原市 (Ogasawara City), 佐久市 (Saku City), 長和町 (Nagahiko Town), 佐久町 (Saku Town), 小笠原町 (Ogasawara Town), 東御町 (Togami Town), 小笠原町 (Ogasawara Town), 佐久町 (Saku Town), 小笠原町 (Ogasawara Town), 佐久町 (Saku Town).

**1** 島津ぶどう園 池澤文雄  
メルロ/シャルドネ/カベルネソーヴィニヨン  
千曲市藤原1182  
TEL: 026-274-1047  
E-mail: info@isatsubun.com  
http://isatsubun.com/

**2** I.A.S. 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/カベルネソーヴィニヨン/  
シムラビト/アウスラウフ520ヘクタール  
千曲市大田4012  
TEL: 026-274-5454

**3** We Winery 渡辺 隆  
カベルネソーヴィニヨン/シャルドネ/ソーヴィニヨンブラン ほか  
千曲市大田  
TEL: 026-276-0900  
Facebook: @wewinery

**4** LA FERME YOGAKEY 藤原 一夫  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
千曲市藤原  
E-mail: lafermeyogakey@gmail.com

**5** 藤原ぶどう園  
Yuu datta Gatta SASAKI 成瀬 寛人  
カベルネソーヴィニヨン/メルロ/シャルドネ/  
ソーヴィニヨンブラン/リースリング  
千曲市藤原916-47  
TEL: 0266-82-2208  
http://sakaki.wine/

**6** ファンキーレイト 藤原 昌智  
メルロ/シャルドネ/カベルネ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ  
千曲市藤原  
TEL: 0266-49-0277  
http://funkyratezoo.com

**7** 高野ぶどう園 Kono Vineyard  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
千曲市藤原  
TEL: 090-2487-1224  
E-mail: info@kono.com  
https://www.kono.com

**8** Yashan-Hata(ヤシアンヘイ) 宇田 誠  
カベルネソーヴィニヨン/キヌビョロ  
千曲市藤原  
https://www.yashan-hata.com

**9** Sal the Sky Vineyard 都口 隆  
メルロ/カベルネ/シャルドネ/ソーヴィニヨンブラン/ブドウ/ブドウ  
E-mail: salthe2014@gmail.com  
Facebook: @Sal the Sky Vineyard

**10** トモローワイン 藤村 隆  
メルロ/カベルネソーヴィニヨン/カベルネ/ブドウ/  
シムラビト/ブドウ/ブドウ  
E-mail: tomoreowine@aisatsuhofood.com

**11** Water Valley Vineyard  
(ウォーターレーンヴィンヤード) 渡辺 隆  
メルロ/カベルネ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
上野原町  
E-mail: m.wmv972@gmail.com

**12** Abbey's Vines 渡辺 隆  
カベルネ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
TEL: 026-274-1047  
Facebook: @Abbey's Vines

**13** ぶどうのつくり手 山本 隆  
メルロ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
TEL: 026-274-1047  
http://sundayfarm.ocn.ne.jp

**14** 藤原ぶどう園 山本 隆  
メルロ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
TEL: 026-274-1047  
http://sundayfarm.ocn.ne.jp

**15** 藤原ぶどう園 山本 隆  
メルロ/ブドウ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
TEL: 026-274-1047  
http://sundayfarm.ocn.ne.jp

**16** いまのつくり手 (Ima no Tsukurita) 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
TEL: 026-274-1047  
Facebook: @imatsukurita  
https://www.imatsukurita.com

**17** VART(バー) 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**18** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**19** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**20** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**21** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**22** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**23** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**24** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**25** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**26** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**27** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**28** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**29** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**30** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**31** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**32** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**33** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**34** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**35** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**36** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**37** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**38** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**39** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**40** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**41** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**42** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**43** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**44** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**45** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**46** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**47** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**48** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**49** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**50** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

**51** 藤原ぶどう園 伊藤 昌典  
メルロ/シャルドネ/ブドウ/ブドウ/  
ブドウ/ブドウ/ブドウ/ブドウ  
E-mail: info@vart-jm.com

# 大学の知的財産の現状

知的財産権等収入(千円) 特許権実施等件数

## 【現状】

平成30年度 大学等における産学連携等実施状況について  
(令和2年1月17日)

No.	機関名	収入額	前年度 No.
1	東京大学	1,267,504	1
2	京都大学	717,934	2
3	大阪大学	670,692	4
4	名古屋大学	353,021	7
5	東京工業大学	235,608	3
6	九州大学	225,418	6
7	信州大学	149,259	15
8	東北大学	144,963	5
9	関東学院大学	126,342	8
10	横浜市立大学	121,629	-
11	三重大学	114,122	-
12	北海道大学	97,636	14
13	北里大学	85,253	29
14	東京理科大学	79,050	30
15	名古屋工業大学	75,955	-
16	日本大学	70,638	9
17	順天堂大学	69,024	12
18	筑波大学	65,654	23
19	東京医科歯科大学	56,417	10
20	早稲田大学	53,974	20
21	愛媛大学	46,573	25
22	広島大学	46,079	16
23	慶應義塾大学	44,991	13
24	岡山大学	44,294	22
25	九州工業大学	39,314	-
26	熊本大学	37,695	18
27	徳島大学	37,522	19
28	神戸大学	36,194	17
29	久留米大学	28,999	-
30	関西学院大学	27,200	-

No.	機関名	件数	前年度 No.
1	東京大学	3,725	1
2	京都大学	1,695	2
3	関東学院大学	1,084	3
4	大阪大学	852	4
5	北海道大学	754	6
6	東京工業大学	649	5
7	名古屋大学	615	8
8	東北大学	573	7
9	九州大学	446	9
10	信州大学	346	10
11	広島大学	328	11
12	早稲田大学	276	13
13	岡山大学	238	15
14	日本大学	217	14
15	九州工業大学	216	17
16	金沢大学	208	16
17	東京理科大学	190	19
18	筑波大学	178	12
19	東京医科歯科大学	160	18
20	熊本大学	155	24
21	富山大学	150	24
22	群馬大学	143	30
23	東京農工大学	132	26
24	豊橋技術科学大学	128	20
25	同志社大学	123	28
25	久留米大学	123	23
27	香川大学	121	29
28	千葉大学	117	-
29	慶應義塾大学	112	27
30	静岡大学	107	20



大学知財群活用プラットフォーム  
Platform of University Intellectual Property

PUiPとは?

活動紹介

企業の方へ

大学・研究機関の方へ

組織情報

ニュース

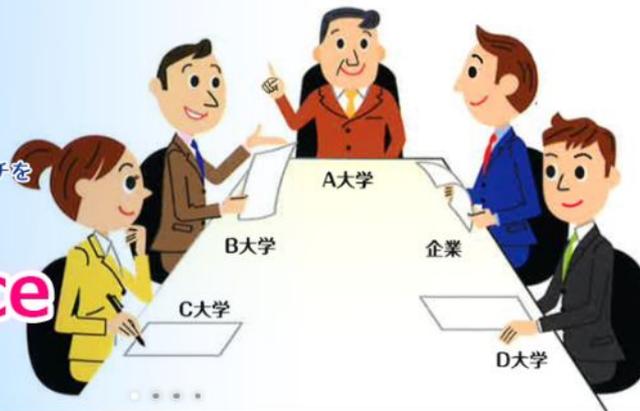
お問い合わせ



「知財群」を形成し

ニーズに対して具体的な解決アプローチを  
迅速に提供する活動を行っています。

**Face to Face**  
のワーキング活動



## 新着ニュース

### 山梨中央銀行と連携協定を締結

▲ PUiP管理者 ● 0 @ 12/14/2017

大学知財群活用プラットフォーム（団体略称名：PUiP）は、2017年12月7日に山梨中央銀行と連携協定を締結致しました。PUiPは、大学のシーズをもっとご利用していただくため、製品や分野の関連シーズを集約し、知財を鮮化して提供していますが、その利用、活用をさらに促進するため、このたび山梨中央銀行と連... [続きを読む](#)

### PUiP 新技術説明会を開催しました（知財リスト配布）

▲ PUiP管理者 ● 0 @ 2/1/2017

2017年1月31日（火）に JST 東京本部別館（東京・市ヶ谷）において、「大学知財群活用プラットフォーム 新技術説明会」を開催しました。当日は、多くの方にご参加いただき、ありがとうございました。なお、会場で配布しました「分野別知財リスト」ですが、十分な部数がなく、申し訳ありませんでした。次に、P... [続きを読む](#)



# 大学知財群活用 プラットフォーム

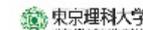
大学、機関、企業との「Face to Face」で知財群を活用し  
社会ニーズにお応えいたします。

参加企業  
募集中

本団体は大学及び関連機関を会員として、大学のシーズ（知財・研究ノウハウなど）を  
企業において活用・事業化していただく産学連携活動を行っています。



東京電機大学



## ・知的財産推進計画2015 重点3本柱

### ① 地方における知財活用の推進

地域中小企業の知財戦略強化と地方における  
産学・産産連携の促進

### ② 知財紛争処理システムの活用化

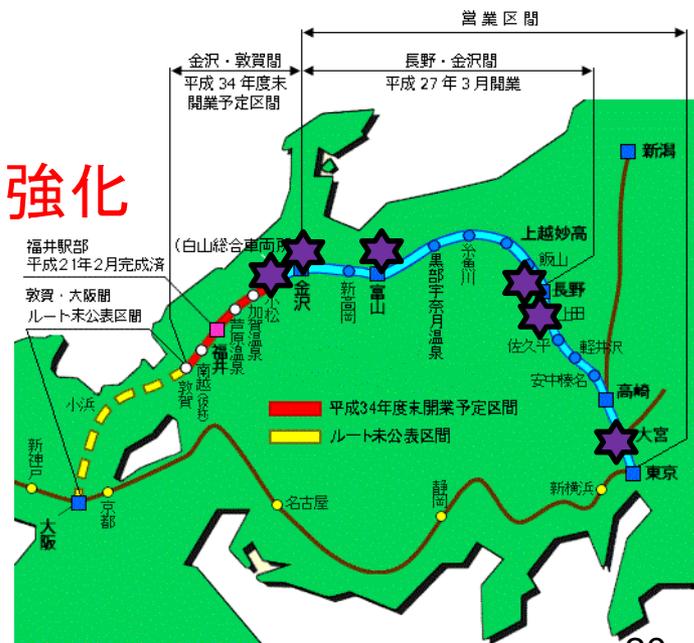
### ③ コンテンツ及び周辺産業との一体的な海外展開の推進

## ・地方創生

地域中小企業と地域大学との連携強化

## ・北陸新幹線の開通

交流がし易くなった



◆参画機関:株式会社信州TLO、有限会社金沢大学ティ・エル・オー

- ①国立大学法人信州大学、②国立大学法人埼玉大学、③国立大学法人富山大学、④国立大学法人金沢大学、⑤国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学、

◆事業名 :

『輝く地元中小企業応援プロジェクト』  
かがやきプロジェクト

◆事業目的 :

地方の一大学だけでは解決できなかった地元企業の課題に対して大学が連携し、地方における知財活用推進。

従来少なかった中小企業と他地域の大学との連携、他地域の企業間連携促進。

マッチングイベントの開催状況			
	開催日	開催地	会場
1	8月 9日	長野県 長野市	信州大学工学部内 SASTec
2	8月31日	富山県 富山市	富山国際会議場
3	9月13日	長野県 上田市	高砂殿
4	9月14日	埼玉県 さいたま市	TKP 大宮西口カンファレンスセンター
5	10月 3日	富山県 富山市	富山国際会議場
6	10月 4日	石川県 金沢市	県地場産業振興センター
7	11月 2日	石川県 金沢市	ホテル日航金沢
8	11月18日	埼玉県 さいたま市	TKP 大宮西口カンファレンスセンター

## 事業の目標値と実績値

		目標値	実績値
【1】課題解決型マッチング	マッチング企業数	25社/回×8回 =200	217社
	シーズ紹介	15件/回	1回あたりの平均21件 (のべ147件)
【2】課題抽出	課題数	80	159
【3】大学研究者とのマッチング	マッチング数	50	73
【4】課題解決共同開発立案	共同開発支援企業件数	10	34
【5】事業化支援	事業化支援企業数	3	6



個別相談会の様子（富山開催）



大学シーズ紹介の様子（富山開催）